

# 第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 平成28年6月14日(火) 5校時  
児 童 男子 7名 女子 11名 計18名  
場 所 4年教室  
指導者 佐藤麻穂

1 単元名 「川の生き物を調べよう」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、本校の総合的な学習の時間のねらい(3)「自ら課題を発見し、主体的に課題解決する意欲や態度を育てる」を重点指導項目とするものである。自分たちのくらしの身近にある気仙川の環境についての課題を捉え、川にすむ生き物の種類や川の様子について調査していくことで、気仙川の水の美しさや森林・川・海の関係について理解を深める学習内容である。

具体的には「気仙川はどのぐらいきれいなのだろうか。」という問いかけについて、水質調査や水生動物調査をするなどして、その答えを追究していく活動になる。これらの体験的な活動は、児童にとって主体的・協同的に課題解決に取り組むことができる活動と考える。この単元を通して、児童が自ら課題解決に向けて主体的に活動しようとする意欲や態度を育てていきたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、学習に対する意欲・関心を持ち、前向きに学習に取り組む子が多い。

3年生の総合的な学習の時間「住田を知ろう」「伝統行事を調べよう」の単元では、町の自然・文化や地域に伝わる伝統文化について学習してきた。また、森林環境学習に関連した活動としては、1, 2年生の生活科の学習で、種山へ出かけて、森の散策や落ち葉、木の実集め、森のビンゴ、プチウォークラリー等を経験している。3年生では、祖父母交流会で森の積み木広場を行い木の香りに包まれ、温もりにふれながら祖父母と活動を楽しむことができた。さらに、地域で栗拾いも体験している。

これまでの総合的な学習の時間の学習では、教師側から提示された課題に対して、自分が知りたいことや疑問について、地域の方にインタビューをして解決していく活動を中心としてきており、自分自身で課題を見つけ、その解決方法を考え、まとめていく活動の経験はほとんどない。

また、本単元では気仙川を題材として活動を展開していくが、これまで川に行って遊んだり釣りをしたりしたことがある児童は、18人中12人で、そのうち気仙川で活動したことがある児童は8人であり、気仙川に関わったことのある児童は多いとは言えない。

(3) 指導観

指導にあたっては、児童一人一人が「何を解決するのか」という課題意識を持ち、課題に対して「どのように」解決していくのかを考え、その結果を「誰に」発信したいのかを明確にさせながら、児童が主体的に活動できるような手立てを組んでいきたい。

まず「気仙川はどのぐらいきれいなのだろうか。」と児童に問いかけ、提示された資料や自らの経験をもとにして、その答えを予想し考えさせる。水のきれいさについては、「飲める」「川で遊べる」「生き物がすめる」など、具体的な判断基準を示し、一人一人が川のきれいさについての考えを持てるようにしていき、課題意識を明確にし、主体的に課題解決に取り組ませたいと考える。

また、水生動物調査では、他者と協同して解決する活動を設定し、1グループ3人で話し合いながら調査結果をまとめていくようにする。さらに、まとめの段階では、上流にある有住小学校と調査結果を比較する活動をし、気仙川についての新たな発見や興味関心を持たせ、地域の環境全体について考えさせていきたい。

さらに、社会科の学習とも関連付けながら、森林・川・海の関係についての理解を深め、地域の自然の象徴である「気仙川」について愛情を持ち、その自然を守っていこうとする態度を育んでいきたい。

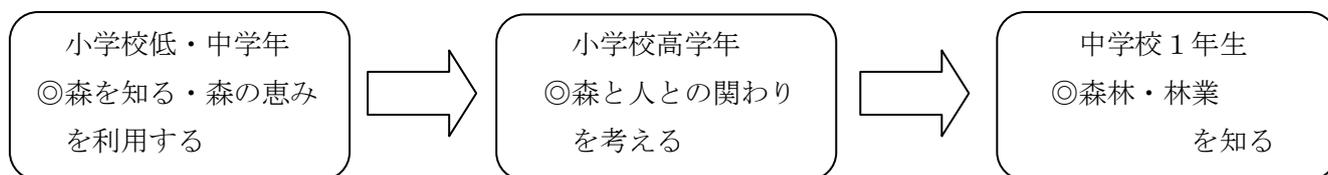
#### (4) 町の教育研究との関わりについて

豊富な森林資源を持つ住田町では、平成20年度より「地域理解を深める森林環境学習の充実」を目指して、保・小・中・高の系統的・継続的な森林環境学習の教育活動を行ってきた。具体的な目的としては、森林や林業に関心を持つこと、持続可能な循環型社会への関心と理解を深めること、人間が本来持っている生きる力を養うこと、故郷の素晴らしさを理解し地元を誇りを持つことなどである。

これらの目的に沿って、本校でも以下の様々な教育活動を実践してきている。

- ・1・2年生…種山散策
- ・3年生 …住田を知ろう
- ・4年生 …気仙川の水生動物調査
- ・5年生 …住田と森林（栗木鉄山見学）
- ・6年生 …住田をPRしよう（自然・産業・観光）

平成22年度発行の「森林環境学習実践事例集」には、森林環境学習の目標の系統性が、次のように示されている。



中学年としては、「身近な自然を観察したり、環境を調べたりする活動を通して、森林と人のかかわりについて気付く」ことを目標としてとらえることが例として示されている。

本校の総合的な学習の時間、中学年の指導事項の重点「いろいろなことに興味を持ち、自分から進んで関わろうとする。」（課題設定力）や「疑問に感じたり、感動したりしたことから課題を見つけ、自分で解決できる。」、「解決に必要な情報を得たり、調べたりすることができる。」（課題追求力）はいずれも上記の「系統性」との関連性を元に考えていきたい点である。

本年度、町の教育研究所では、テーマ「自立して生き抜く力を身に付け、他と協働してよりよい豊かな人生や地域づくりを主体的に創造することのできる人材育成に関する研究」を掲げ、各研究部会の活動を行っている。「森林環境学習研究部会」としては、「自立的活動力」、「社会参画力」の2つの社会的実践力を育むための、豊かな教育活動の在り方を探ることを目標としている。

今回の研修会にあたり、本校の総合的な活動の時間で身に付けたい力「課題設定力」「課題追求力」「表現力」「自己評価力」の4つの力を目指す単元を通して、町の研究テーマで育みたい、「自立的活動力」「社会参画力」の2つの社会的実践力との関連を考えていきたいと考えている。

### 3 単元の目標

- ◎ 気仙川の水生動物や環境を進んで調べることができる。
- 川に棲む動物の種類や川の様子から、水の美しさや森林・川・海の関係を知る。

### 4 単元の評価規準

課題設定力	課題追求力	表現力	自己評価力
気仙川の水生動物調査に興味を持ち・進んで調査に取り組んでいる。	気仙川にいる動物について調べ、指標をもとにして、水質を判断することができる。	調査結果を、分かりやすく新聞にまとめ、上流の有住小学校の児童に伝えることができる。	調査結果をもとにして、これから自分に何ができるかを考えることができる。

### 5 指導と評価の計画（12時間）

段階	学 習 内 容	評価規準	他教科との関連
第1次 (2)	1 住田の環境について考え、学習課題を捉える。①（本時）  2 水生動物調査の方法を知る① （図鑑、資料、過去の4年生がまとめた新聞等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の学習課題を捉えることができたか。</li> <li>・水生動物について興味関心を持つことができたか。</li> </ul>	
第2次 (4)	1 気仙川で水生動物調査をおこなう。③ （1）水の流れの速さや気温・水温の測定 （2）川に入っでの採取 （3）水質調査  2 調査結果をまとめる。① （1）水生動物の名前や数を調べる。 （2）調査結果から分かること・考えられることについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力して、調査をおこなうことができたか。</li> <li>・調査方法に従って水生動物を採取することができたか。</li> <li>・調査結果をもとに川の水質について進んで考え、発表することができたか。</li> </ul>	
第3次 (6)	1 結果を新聞にまとめる。③ 新聞（形式を統一）を提示して、記事を作成する。  2 新聞の発表をする。① 3 有住小学校へ新聞を送る。 4 有住小学校からの結果と比較し、住田町の自然環境について考え、話し合う。①  5 気仙川の自然の恵みを大切にするために、自分たちができることについて考え、話し合う。①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果をもとに自分の感想や意見を記事にすることができたか。</li> <li>・意欲的に発表することができたか。</li> <li>・上流の様子と比較することができたか。</li> <li>・今後の自分の行動の仕方について考えることができたか。</li> </ul>	国語 新聞を作ろう    社会 水はどこから

6 本時の指導

(1) 目標

- 単元で解決する課題を確認し、課題解決のための計画を立てることができる。
- 水生動物調査について理解し、活動への意欲を高める。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
導入	<p>1 前時までの学習について想起し、本単元の学習課題を確かめる。</p> <p>○住田の自然環境に関するこれまでの活動について想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種山散策</li> <li>・栗拾い</li> <li>・森の積み木広場</li> <li>・校外学習(めがね橋)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習活動を想起させ、本単元の学習の位置付けを確認させる。</li> <li>・住田の地図を提示し、住田の自然環境の様子を視覚的に捉えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間の活動を想起 本単元の課題を確認することができたか。</li> </ul> <p><b>【課題設定力】</b></p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     気仙川はどのぐらいきれいなのだろうか。                 </div>			
展開	<p>2 これまでの活動経験や、自分の生活経験をもとにして予想する。</p> <p>3 調べる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見て調べる。</li> <li>・水の汚れを調べる。</li> <li>・インタビューをする。</li> <li>・水生動物調査をする。</li> </ul> <p>4 水生動物調査について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気仙川の写真を提示し、その写真や、自分が川に行った時の経験などから、気仙川がどのぐらいきれいかどうかについて話し合わせる。</li> <li>・「飲める」「遊べる」「生き物が棲める」「生き物も棲めない」などの判断基準を提示し、自分なりの考えを持たせる。</li> <li>・グループで考える時間を取り、多様な考えを出させる。</li> <li>・川に棲む生き物を採取することで、川の汚れが判定できることを知らせる。(水生動物調査の指標を提示)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水生動物調査について理解し、今後の活動について意欲を持つことができたか。</li> </ul> <p><b>【課題設定力】</b></p>

	5 調査結果を誰に伝えたいか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>住田町の地図で、気仙川の上流には有住小学校があることを捉えさせ、結果を比較できることを伝える。</li> <li>児童の考えで、過去のデータと比較したい場合は、上級生に向けても結果を伝える活動を取り入れる。</li> </ul>	
終末	6 ふりかえり 学習の振り返りをする。 7 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習の進め方について整理し、課題解決に向けて活動していくことを確認する。</li> <li>次時の学習内容を確認し、児童に活動の見通しを持たせる。</li> </ul>	

## 7 板書計画

